



令和8年度 校長よりメッセージ『竜北生、G o!!』(竜北生の皆さん・保護者の皆様へ 26)

漢字の勉強です！

校長 尾崎 淳一



まずは、和歌で心を落ち着かせて……。百人一首の22番です。

吹くからに 秋の草木の しをるれば むべ山風を あらしといふらむ 文屋康秀

「山からの秋風が吹くと、すぐに秋の草木がしおれはじめる。なるほど、それだから山風のことを『嵐(荒らし)』と呼ぶのだなあ。」

作者の文屋康秀(ふんやのやすひで)さんは、平安前期の歌人で、「六歌仙」の一人の和歌の名手。そして、かの有名な小野小町(おののこまち)さんと仲が良かったそうです。羨ましいですね。この和歌の特徴は「漢字遊び」が取り入れられていることです。秋の草木を枯らし、荒らしてしまう山からの風。それを「山」+「風」=「嵐」ととらえ、「なるほど=むべ」、だから嵐(荒らし)と呼ぶのかと納得しているのです。

この「嵐」のような漢字を会意文字と言います。小学校で習いましたね。すでに存在する二つ以上の漢字を組み合わせて、新しい意味をもたせた文字のことです。「岩」「林」「炎」「男」「明」「休」など、探してみればたくさん見つかります。①「奴」+「心」、②「角」+「刀」+「牛」、③「車」+「車」+「車」は、どんな漢字を表すか考えてみてください。ただ、「糞」は会意文字ではないそうです。食べ物が異なる形になる、「米」+「異」=「糞」とは、すばらしいアイデアと思うのですが、全く違う成り立ちだそうです。やはり漢字は難しいですね。私は、国語教師を引退して正解だったかも知れません……。

ところで、7日の全校集会で、私は次のように話をしました。

今年も暑い夏でしたが、素敵な夏でもありました。7月にスタートした「刈知大会」、そこから「西三大会」「県大会」、そして「東海大会」「全国大会」まで、約2か月間の長期にわたって、竜北生・チーム竜北の活躍を応援することができたからです。文化部の皆さんからも、演奏会や展覧会の素敵な時間をいただきました。竜北生の皆さんが、自分の「よさ」を活かし、「得意なこと」に一生懸命に取り組む姿は素敵です。「竜北生、L o v e!!」の私ですから、これからも応援していますよ。



それでは、今日の四字熟語です。「一進一退」、意味は「進んだり退いたりすること。または、物事の状況が良くなったり、悪くなったりすること」です。しかし、これだと、いつまで経っても、現在地から動けませんね。そこで、私の愛する竜北生の皆さんには、この言葉を贈ります。「三進二退」です。昭和の大ヒット曲の歌詞に、「1日1歩、3日で3歩。3歩進んで2歩下がる」という歌詞があります。そうです。2歩下がっても3歩進めば、1歩ずつ確実に前進できるのです。竜北生の皆さんの確実な前進と、そのための地道な努力に期待しています。

最後に、もう聞き飽きた、いや聞き慣れたこの言葉を贈ります。皆さんと「竜北生、G o!!」をできる機会も、もうそんなに多くはありません。心に刻んでくださいね。「竜北生、G o!!」

前期期末テストが終了し、今年度も間もなく折り返し地点となります。気の早い話ですが、「第50回卒業式」まで半年を切っています。授業や行事、また全校集会などに、気持ちを込めて臨めるといいですね。竜北生らしい、「気持ちの切替」にも期待しています。

3歩進んで2歩下がる。1歩ずつ1歩ずつ、前を目指しましょう。「竜北生、G o!!」

11月5日の『創立50周年記念式典』は、保護者の皆様にも案内を差し上げます。約200席の設定のため、参加希望アンケートを実施いたします。ご協力をお願いします。

(令和8年9月15日)